

新型コロナウイルス感染の影響で献血協力者が不足しております。

◆新型コロナウイルスのワクチン接種に関するお願い◆ mRNA ワクチン(ファイザー社製・モデルナ社製)を接種後 48 時間が経過していれば献血可能です。

※アストラゼネカ社製のウイルスベクターワクチンを接種された方は現時点で献血をご遠慮いただいております。

1月12日(水)

10:00-11:45/13:00-16:00

今 埼玉県総谷県土整備事務所

強玉県建設業協会 大里支部

400mL採血の基準がある方は、ぜひ400mL献血のご協力をお願いいたします。 また200mL献血につきましては必要量が集まり次第終了させていただく場合がございます。

埼玉県赤十字血液センター 2048-720-8009

新型コロナウイルス ワクチン接種に関するお願い

ワクチン※を 48 時間以内に

接種された方は献血を

ご遠慮いただいております。

※令和3年5月10日現在、国内で使用されているワクチンはRNAワクチンのみです。

ワクチンを接種されたことがある方は、

献血受付時に職員にお申し出ください。

新型コロナウイルスワクチンに関する詳しい情報は下記アドレスをご確認ください。

https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/

(厚生労働省 HP:「新型コロナウイルスワクチン Q&A」)



新型コロナウイルス感染症対策として

以下に該当する方は

「献血」をご遠慮いただいております。

- ◆新型コロナウイルス感染症と診断された、または新型コロナウイルス検査(PCRまたは抗原検査)で陽性になったことがあり、症状*1消失後(無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から)4週間以内の方
- ◆新型コロナウイルス感染症が疑われる症状*1があり、新型コロナウイルス検査(PCR または抗原検査)を受け、 結果が陰性であったが、症状出現日から2週間以内及び 症状消失から3日以内の方
- ◆現在、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を 含む新型コロナウイルス感染症が疑われる症状*1 や、味 覚・嗅覚の違和感を自覚する方
- ◆保健所から新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者^{※2} と判断され、最終接触日から2週間以内の方
- ※1 発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など
- ※2「濃厚接触者」とは、「患者(確定例)」の感染可能期間(発症2日前*から入院や自宅待機を開始するまでの間)に接触した方のうち、次の範囲に該当する方です。*「無症状病原体保有者」の場合は、「検体採取2日前」とする。
 - 患者(確定例)と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった方
 - 適切な感染防護なしに患者(確定例)を診察、看護若しくは介護していた方
 - 患者(確定例)の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い方
 - 手で触れることの出来る距離(目安として 1 メートル)で、必要な感染予防策なしで、「患者(確定例)」と 15 分以上 の接触があった者

(国立感染症研究所 「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」(2021年1月8日暫定版)参照)





服薬について (一例) 😽



400mL・200mL献血の場合、服薬中の方でも献血がお願い出来る場合があります。 なお、医師の問診により当日献血をご遠慮いただく場合がございます。

① 献血可能な薬の一例。(当日服用可)

- 01. ビタミン剤、ミネラル剤
- 02. 漢方薬
- 03. 抗アレルギー薬(市販の花粉症・アレルギー性鼻炎の薬)
- 04. 降圧薬(高血圧症の治療薬として服用中で、血圧がほぼ正常域にコントロールされていること)
- 05. 高脂血症治療薬
- 06. 高尿酸血症治療薬
- 07. 胃腸薬
- 08. 抗ヒスタミン薬 (セレスタミンを除く)
- 09. 予防薬としての抗潰瘍薬
- 10. 低用量ピル
- 11. 少量の女性ホルモン等(更年期障害や月経困難症等の補充療法)
- 12. 便秘薬
- 13. 局所投与の薬物 (点鼻薬・点眼薬・吸入・外用薬[※注]) [※注]外用薬については、服用当日献血をお願いできない場合もありますので、お問い合わせください。

② 当日服用した場合、献血をご遠慮いただく薬の一例。

- 01. 風邪薬、市販解熱鎮痛剤
- 02. 内服用筋弛緩薬
- 03. 睡眠薬、抗不安薬、マイナートランキライザー
- 04. 消炎酵素剂
- 05. 前立腺肥大症治療薬(アボダート・プロスカー・プロペシアを除く)

③ 3日以内に服用の場合、献血をご遠慮いただく薬の一例。

- 01. 解熱鎮痛消炎剤(非ステロイド系)
- 02. 抗生物質(抗菌薬)
- 03. 向精神薬(抗不安薬・マイナートランキライザーを除く)
- 04. 抗ウイルス薬
- 05. 止痢薬
- 06. 痛風発作治療薬 (コルヒチン)
- 07. 喘息治療薬

4 服用している場合、ご遠慮いただく薬の一例。

- 01. 抗けいれん薬
- 02. 抗凝固薬・血小板凝集抑制薬
- 03. 抗甲状腺薬
- 04. 抗不整脈薬
- 05. 冠拡張薬(降圧のみを目的とする場合は 1. に準じる)
- 06. 強心薬等
- 07. 治療用ホルモン薬(ステロイドなど): 1ヶ月間献血延期
- 08. 免疫抑制剤: 1ヶ月間献血延期
- 09. 抗癌剤:無期献血延期
- 10. 前立腺肥大症治療薬 (アボダート) 6ヶ月間献血延期



新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

当社では従来より、感染症対策を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、さらに徹底した対策を行い、安全な献血会場の運営に取り組んでいます。

【職員の健康チェックを徹底しています。】

→ 日々の実施している健康チェックに加えて、出勤前・出勤時に体温測定を 徹底しています。

【職員の手指消毒を徹底しています。】

- ★ 職員の出勤時、献血会場入退室時。
- ★ 献血受付時、問診時、献血カード更新時。
- ★ 看護師は献血者ごとに手袋を交換しています。

【献血会場の良好な衛生環境を保持しています。】

- ★ 献血会場にて使用する機材は日々、消毒液を用いて清掃しています。
- ★ 献血会場の入口で体温測定をするなど、良好な衛生環境に配慮した会場 設営をしています。

《皆様へのお願い》

- ◆ 献血会場では入口に備えている消毒液にて手指消毒をお願いしています。
- ◆ 入口にて体温測定を実施しています。 (発熱が確認された方については献血会場への入場をご遠慮いただいています。)
- ◆ 必ず、マスクの着用をお願いしています。

※介助者等付き添いの方もお願いします

新型コロナウイルス感染の拡大下でも、毎日約14,000人の方からの献血のご協力が必要です。 尊い命を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



新型コロナウイルス感染症について

- 1. 新型コロナウイルス感染症は、一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖 した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの 症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。
- 2. 一般的に、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合は、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスを感染させる可能性も最も高くなると考えられています。 しかし、新型コロナウイルスでは、発症の2日前から発症後7~10日間程度他の人に感染させる可能性があるとされています。特に、発症の直前・直後でウイルス排出量が高くなるため、無症状病原体保有者(症状はないが検査が陽性だった者)からも、感染する可能性があります。
- 3. 感染を予防するためには、人と人との距離をとること(Social distancing; 社会的距離)、外出時はマスクを着用する、家の中でも咳エチケットを心がける、さらに家やオフィスの換気を十分にする、十分な睡眠などで自己の健康管理をしっかりすることで、自己のみならず、他人への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底することが必要です。

※厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する Q&A」より抜粋

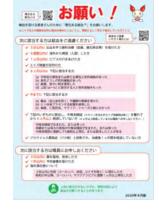
献血会場での安全対策

- ◎感染者や感染の疑いのある方の献血会場への入場をお断りしています。
 - ①入口での注意喚起(写真①) ②体温測定(写真②) ③手指消毒(写真③)
 - ④お願いパンフレット (写真4)
- ◎会場入口での手指消毒を徹底し、接触感染を予防します。
- (入口の他にも要所に消毒液を設置しています。)
- ◎必ず、マスクの着用をお願いしています。
- ◎献血にご協力いただく方には、健康状態を正確にお答えいただくなど責任ある 献血をお願いしています。









写真① 写真② 写真③ 写真④

Q1 献血会場で感染することはないのか?

A1 体温測定、手指消毒、マスクの着用、会場内での消毒及び清掃を徹底し感染防止に細心の注意を 払い、安全な会場設営に努めています。また、看護師は献血者毎に手袋を交換しています。

Q2 既に感染している献血者が献血会場に来ることはないのか?

- A2 献血会場入口での体温測定で、発熱が認められる方及び以下の項目に該当する方は、会場への入場をご遠慮いただいています。
 - 新型コロナウイルス感染症と診断された、または新型コロナウイルス検査(PCR または抗原検査)で陽性になったことがあり、症状消失後(無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から)4週間以内の方
 - 新型コロナウイルス感染症が疑われる症状があり、新型コロナウイルス検査(PCR または抗原 検査)を受け、結果が陰性であったが、症状出現日から2週間以内及び症状消失から3日以内の 方
 - ・現在、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症が疑われる症状や、味覚・嗅覚の違和感を自覚する方
 - •保健所から新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者と判断され、最終接触日から2週間以内の方

Q3 献血実施後に、社内で献血協力者以外の社員に感染が確認された場合はどのような対応を取ればいいのか?

A3 献血協力者に対し、献血後に保健所から新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査の対象(濃厚接触者)であると連絡があり、濃厚接触の対象日から2週間以内に献血日が含まれていた場合は、該当献血者の「献血日、氏名、生年月日」をできるだけ早く血液センターにご連絡いただくようお願いしております。

また、献血された方が、献血後 2 週間以内に「新型コロナウイルス検査(PCR または抗原検査)が陽性となった」、医療機関で「新型コロナウイルス感染症」と診断された、または「新型コロナウイルス感染症の疑い」とされ PCR または抗原検査を受けた場合や、息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがあった、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症を疑う症状、味覚・嗅覚の違和感があった、接触確認アプリ COCOA から接触通知があり、接触の心当たりがあり、接触日以降 2 週間以内に献血していた場合も血液センターへのご連絡をお願いしています。こちらについては、全ての献血者に対し、献血時にご案内させていただいております。

Q4 新型コロナワクチンの接種をしたが耐血は可能か?

A4 mRNA ワクチン(ファイザー製・モデルナ製)につきましては、接種後 48 時間経過していれば献血は可能です。しかし、ワクチン接種後、全身倦怠感、全身の筋肉痛等の全身性の副反応が認められた方は献血をご遠慮いただく場合がございます。※mRNA ワクチン以外を接種された方は、恐れ入りますが別途お尋ねください。

Q5 新型コロナウイルス対応として献血を中止もしくは延期したいが?

A5 献血会場の安全対策は万全を期していますので、予定どおり是非献血にご協力をお願いします。